

河内長野・南花台

まる

まる

ワークショップ

おかげさまで
5回目です!!

第5回 2月22日(日)

テーマ

「南花台のすまいのこれから」

場所：コノミヤ内 2階特設会場

日時：13:30～15:30

南花台には約2,400軒の住宅があります。
住み続けられる「まち」を目指して、これらのすまいの
今後について、空き家が出たらどうするのか？中古住宅
の上手な活かし方は？などについて意見交換をします。

※参加申し込みは必要ありません。お気軽にお越しください。

毎回、〇〇なテーマに合わせて、ご近所の人、家族、お友達。。

“まる”っと、みんなをひっくるめてみんなで話して考えてみましょう！

『これから南花台に大学が来る？』『健康まちづくりがはじまる？』

南花台のまちづくりについて、みんなで話し合うワークショップです。



色々な所で、畑したり、佇んだり。立ち話も。。。
そんな『まち』って、健康的で楽しそう!!

同時に開催!

〇まる〇まる カフェ

11:00
～13:00

コーヒー片手に、
学生とお話。日頃の
暮らしのお茶のみ話。

〇お問い合わせ〇

関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト 担当倉知 / ☎06-6368-1111 (内線 6720)
河内長野市 政策企画課 担当：谷ノ上 / ☎0721-53-1111 (内線 340)

【南花台スマートエイジングシティプロジェクト】とは？

『スマートエイジング・シティ』とは、高齢者だけでなく、いろいろな世代の人たちが、住み慣れた場所で安心して暮らすことが出来る、住み慣れた場所で快適に住み続けられる、みんなが健康で自律して、毎日を送ることができる「まち」です。このプロジェクトでは南花台で、河内長野市、大阪府、大学、民間企業が連携して、スマートエイジングな「まち」の実現を目指します。まずプロジェクトの具体的な始まりとして、関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト主催により住民のみなさんとの意見交換の場としてのワークショップを開催することとしました。

主催：関西大学 KSDP 団地再編プロジェクト / 共催：河内長野市・大阪府 / 協力：(株)タニタ・高野山大学・南海電鉄・(株)コノミヤ



2015年1月17日(土)に第4回まるまるワークショップ&カフェを開催しました!

テーマ:「キャンパスタウン南花台」

第4回まるまるワークショップ&カフェ
日時:2015年1月17日(土)13:30~15:30(カフェは11:00~13:00)
場所:コノミヤ南花台店特設会場

【ワークショップで出たみなさんの意見】

◎よいところ ●気になるところ ☆こうなったらいいな

(1) 住民たちの「キャンパスタウン」に対するおもしろい

- 高野山大学が来る、という話がなくなるのはつらい。
- ☆「南花台に大学が来る」という住民たちの夢を、住民たち自身の力で現実にさせる。

(2) 大学が来ることに期待すること

- ☆保育園と連携し、病気の一時預かりなどのサービスをしてほしい。
- ☆地域全体が実習講義の場所になるように、地域と大学が連携する。
- ☆若い世代と高齢者の橋渡しになってほしい。
- ☆地域の中で公開講座を開講して欲しい。

(3) 南花台で暮らす学生たちに期待すること

- ☆治安が悪化しないように、ボランティアなどに参加して欲しい。
- ☆お祭りや小学校の運動会などの地域の行事に参加して欲しい。運営にも参加して欲しい。
- ☆住民たちと楽しく接して欲しい。

(4) 住民たちが学生たちにやってあげられること

- ◎庭を花やイルミネーションで飾って、南花台に来る学生を迎える。
- ◎住民たちが持っている知恵や能力(料理、着物の着付け、戦争体験、庭を貸してあげる、下宿生の受け入れ、就活相談)
- ☆南花台で人材登録を行い、学生が学びたいことに利用してもらう。
- ◎南花台での地域のお手伝いがアルバイトになるようにする。

(5) 南花台でのくらしに対するブランド力向上

- ☆南花台条例の制定
- ☆地域の中や、地域のつながりから学生の就職口を見つけてあげる。
- ☆世界を見据えたグローバル教育が地域で実践されている。
- ☆地域通貨「南花台ポイント」を運用する。
- ☆地域の行事や日々のくらしを通して、南花台の住民たちと学生たちがみんな顔見知り。
- ☆学生と住民自身がブランド力の提案・発信する。

(6) 南花台の機能を整備する

- 居酒屋がない。
- 娯楽・遊べる場所が少ない。
- ☆外環沿い飲食店へのアクセスを容易にする。
- ◎旧西小(福祉文化施設)では今もボランティア活動が行われているので、サークル活動の場としては最適。
- ◎戸建ての2階を下宿として提供したい。
- ☆UR団地を利用した学生寮の運営。
- ☆団地の4~5階に若い学生、1~2階に高齢者がくらす仕組み。
- ☆医療施設の充実。

(7) 南花台でくらす学生たちやまちの未来

- ☆卒業した学生が南花台で一生を過ごす。(卒業→出産→定住)
- ☆若い人が南花台に住めば空き家がまわりだす。元の住民は持ち家を売ってUR団地に住む。

(8) これから考える必要があること

- 西小跡は少しまちの外れで遠いのでは?
- 建物が古くて使いにくいのでは?
- 地域を暴走している子たちもいる。
- まちづくりに仲間入りする余裕がなく、自分の生活で精一杯の人もたくさんいる。
- 南花台には交番がない。
- ☆街頭やカメラなどの設置によって、地域全体の防犯機能の向上。